

大学院特別講義
(医歯学先端研究特論)

性格の捉え方 ―特に「神経質」を中心として―

川添記念病院精神科医長 本村春彦

平成 23 年 9 月 30 日(金)

18:00-20:00

1 号館 6 階 演習室 3, 4

抄録；

「性格」というのはよく使われる言葉だが、実は、十分に理論的に確立されている概念ではない。しかし研究や臨床に重宝するために昔から色々な性格についての研究がなされている。今までの性格学を概略し、実際に臨床を行う上でどのようなところに気をつけたらよいか、「神経質な人」の実例を挙げながら、5 因子理論もふまえて説明したい。性格学の難しさ、利用方法及びその限界がイメージできればと考える。



普段馴染みがあるようで、意外と奥の深い話題でしたが、臨床に即してどう捉えると有効かというお話をして頂きました。聴講生も多数ご参加頂き、議論が深まりました。誠に有難うございました。